

教 育 長 様

代表者 校 園 名:大阪市立本田小学校
校 園 長 名:銭本 三千宏 公印
電 話: 06-6581-1531 FAX: 06-6581-3194
申請者 校 園 名:大阪市立本田小学校
職 名・名 前 校長:銭本 三千宏
電 話:06-6581-1531 FAX:06-6581-3194
代表者校 園 事務職員名:太谷 由香

平成28年度「がんばる先生支援」個人・グループ研究 報告書

◇ 本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1. 研究コース：() 内は、いずれかを○で囲んでください。	
個人研究コース ・ クループ研究 A コース ・ グループ研究 B コース	
継続研究：いずれかを○で囲んでください。	継続研究 [2年目] ・ 3年目 ・ 4年目
2. 研究テーマ	
小学校で豊かに学び続けるための幼小の効果的な接続に関する研究 -----言語活動・表現活動を中心に-----	
◆ 研究内容のキーワード:研究の内容をキーワードで書いてください。(【例】学力向上、体力向上等) 言語活動、表現活動、能力創造において生産性が高いのが幼児期、「ピック5」、学力向上、道徳面や社会性の成長、子どもの成長の見通し・子育てのインセンティブをステークホルダーに、西区の全ての幼稚園・小学校	
3. 研究目的：箇条書きで端的に書いてください。	
<ul style="list-style-type: none">○ 西区全体で子どもたちが豊かに学び続けるための幼小の効果的な接続を継続研究する。○ 保育公開・授業公開・研究発表会を通して、幼稚園・小学校の保護者に子どもの成長の喜びやこれからの成長の見通しを持つことができるよう研究成果を公開し、子育てへのインセンティブを高める。○ J. Heckman (2000年ノーベル経済学受賞)の研究や「就学前教育カリキュラム」、学習指導要領を基に、幼小連携の効果的な接続について研究する。○ 西区の全幼稚園・小学校の教諭がコラボレーションして表現領域(特に音楽)や言語領域の指導について保育研究・授業研究する。○ 「舞台が人を育てる」という言葉がある。西区の全幼稚園・小学校が一堂に会し、教職員のみならず保護者や地域など多くのステークホルダーに子どもたちの成長を2400人収容の大舞台で公開し、アンケート調査により効果検証する。	
4. 取り組んだ研究内容：いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。	
<ul style="list-style-type: none">○ 教育資源へのアクセスの格差などが幼児・児童の環境の中で拡大していることをふまえ、昨年に引き続き、西区の全幼稚園・小学校で就学前幼児教育カリキュラムに基づき幼稚園教育と小学校教育の連携をはかる。そのため、言語活動(主に国語科)・表現活動(主に音楽科)の領域について幼稚園教育要領・小学校学習指導要領・「就学前教育カリキュラム」の文献研究を行い、指導上の要点を整理した。 5月17日 幼小文献研究会を西区園長会、校長会が中心となって行い、各校園に伝達研修をした。○ 経済産業研究所(RIETI)で講演されたノーベル賞経済学者ジェームズ・ヘックマン教授「能力の創造」を幼稚園、小学校で共有し、子どもたちの学力向上をめざして「小学校就学後の教育の効率性を決めるのは就学前の教育にある。恵まれない家庭に育ってきた子どもたちの経済状態や生活の質を高めるには、幼少期の教育が大切であること」を確認する。この論文のアブストラクト(要旨)である「すべての能力創造において生産性が高いのが幼児期」であること。その能力は相乗的に作用し、将来の能力を高めること。」について、幼稚園・小学校のグループ研究者の共通理解をはった。 各幼稚園・各小学校で大竹文雄大阪大学副学長著「就学前教育の投資効果から見た幼児教育の意義——就学前教育が貧困の連鎖を断つ鍵となる一——」を輪読。○ ジェームズ・ヘックマン教授が「能力の創造」で提唱する社会で成功する性格特性「ピック5」の育成について言語活動(主に国語科)・表現活動(主に音楽科)の領域で保育実践や授業実践を行い、「小学校で豊かに学び続けるための幼小の効果的な接続」について実践的検証を行う。この実践により子どもたちの学力向上という認知面だけでなく、道徳面や社会性など非認知面についても成長についても研究した。授業実践については教育関係者や保護者、地域に公開した。 7月6日 交流保育・授業研究会(表現) 於:大阪市立九条幼稚園、大阪市立鞆幼稚園 7月8日 交流保育(言語)九条幼稚園「ことばあそび」 7月8日 交流保育(表現)九条幼稚園「音楽あそび」 10月17日 交流保育(表現)生魂幼稚園「音楽あそび」 10月18日 交流保育(表現)鞆幼稚園「音楽あそび」 10月18日 交流保育(言語)鞆幼稚園「ことばあそび」 11月22日 九条幼稚園・本田小学校全市公開保育・授業 12月1日 交流保育(言語)鞆幼稚園「カルタあそび」小学校3年生と年長組との言語活動 12月9日 交流保育(表現)鞆幼稚園「楽器あそび」小学校3年生と年長組との表現活動 12月16日 交流保育(表現)鞆幼稚園・西船場幼稚園「楽器あそび」「歌遊び」 1月11日 交流保育(表現)九条幼稚園・日吉幼稚園「楽器あそび」「歌遊び」○ 昨年度の研究成果(昨年度提出資料を参照)をもとに教職員のみならず、保護者や地域など多くのステークホルダーに提案するため、幼稚園児と小学校児童が一同に会した発表会をオリックス劇場(収容人員2400人)で行う。子どもたちの確かな成長を確かめる場とするとともに、幼児期の子どもへの保護者には子どもの成長の見通しを持つことができる場にする。この発表会により保護者の子育てのインセンティブの一層の向上を図る。 12月8日 幼小合同発表会打ち合わせ 1月19日 西区幼小合同発表会(オリックス劇場)全市公開	

<p>5. 成果・課題</p> <p>○ 子どもの「生きる力」の向上について</p> <p>ア. 幼稚園の幼児については、小学校の先生や児童と触れ合うことにより、小学校の親しみ、安心感、憧れの気持ち、就学への期待感を持ち、すすんで人と関わろうとする力、学びへの意欲を持つことができた。</p> <p>イ. 発表会を通じて、努力したことについて多くの人々に認めてもらうことができるという体験は、園児・児童の社会的承認の欲求を満たすのみならず、次の学びへのインセンティブを向上させ、学習の期待を膨らませた。</p> <p>ウ. 幼稚園と小学校の教諭が合同で保育や授業を行うことで指導の一貫性がうまれ、幼稚園でも小学校でも「友だちとなかよくすること(協調性)」「こつこつがんばること(勤勉性)」「わがママをいわないこと(外向性)」「くよくよしないこと(精神的安定性)」「やったことのないことでも挑戦すること(経験の開放性)」が大切なのだということを認識させることができ、自信を持って小学校で学ぶことができた。</p> <p>エ. 小学校の児童については園児と交流することにより、自らの成長の振り返りと共に成長した仲間や育ててくれた保護者に感謝する機会が生まれた。</p> <p>オ. 西区の幼児・児童が一同に会し、お互いの音楽表現を交流することにより、一年間の努力を認め合える機会にすることができた。</p> <p>○ 保護者の子育てへのインセンティブ向上について</p> <p>公開保育・授業・懇談等を通して「向上心をもってコツコツ取り組む勤勉性」「積極的に友だちと関わる外向性」「周りの人とのチームワークを大切にす協調性」「好奇心を持って新しいことに取り組むという経験の開放性」「感情をコントロールし穏やかな気持ちになる精神の安定性」という「ビック 5」が家庭教育でも大切であることを実践的に啓発できた。特に1月19日のオリックス劇場での発表会では子どもたちの自信に満ちた姿を多くの保護者に見てもらうことができ、また、本研究の趣旨も十分理解してもらうことができた。</p> <p>○ 教員の指導力向上について</p> <p>ア. 幼稚園と小学校の教員が実践を交流することで、園児と児童の発達の特性を経験することができ、より実践的な幼・小連携ができる。また、国語科・音楽科という教科に特化して交流することで専門性の高い交流ができた。</p> <p>イ. 幼児期から児童期までの言語力、表現力について授業実践を通して交流することにより、特に教育資源へのアクセスが弱い家庭の子どもへの支援の仕方を共通理解することができ、早期からの支援の方法と幼少一貫した支援の方策を研究し、共通理解できる。それによりいわゆる「しんどい子」を大切にす温かい教育風土を幼・小で形成できた。</p> <p>○ 全市公開授業の反応</p> <p>教育センターの公開授業のアンケート形式で調査を行った。全員の参加者から「本日の授業(保育)で子どもが楽しくできたと思いますか。」「本日の授業(保育)で子どもが意欲的に取り組んだと思いますか」という項目については全員が「とてもそう思う」と回答していた。「本日の授業(保育)で子どもが集中して取り組めたと思いますか」という項目については95%の参加者が「とてもそう思う」5%が「少し思う」という回答であった。主な感想を以下に記す。</p> <p>「班活動で3年生と幼稚園の子どもたちが一緒に活動している様子がよかったです。就学前の教育の大切さを改めて感じることができました。幼稚園の先生の温かく子どもたちを受け入れる姿勢もすごく大切だと思いました。」</p> <p>「小学校の方とも話ができて、子どもたちの姿が違うところ、共通するところもあり、いろいろ学ぶことができました。話の中でも「むやみにほめない」とありましたが、その通りだと思いました。子どもの心に届いていないコトバは、子の表情も違います。子どもの心に届いたとき、とても輝きます。そのような言葉を伝えたいと思いました。」</p> <p>「幼稚園の子たちがとても生き生きと楽しそうに活動していたのが、とてもほほえましかったです。それを見守る小学生の子どもたちもよく頑張っていました。幼小の連携で指導者側だけでなく、子どもたちの学ぶ要素はともあり、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。幼稚園の先生方の大事にされている教育観などを聞けてとても勉強になりました。」</p> <p>「最初の出会いの場面では、とてもぎこちなさを感じました。今回が初めての出会いであるということでした。でやはり事前に会うことも大切かと思いました。初めての出会いでも遊び(幼)、学び(小)の活動の中でコミュニケーションが取れると考えを変えました。校長先生、園長先生のお話はとても参考になりました。全市の校長会で話してもらう機会があればいいのですが・・・。」</p> <p>「初めて出会った子どもたちが遊び(授業)を通して関わり、一緒に活動していく姿を見ることができました。子どもたちには人とのかかわる力が培われていることが感じられました。カルタ遊びでは、ことばにリズムをつけたり、動作をつけたりすることで、印象強くなり、幼稚園児も楽しめる内容でした。校長先生はじめ、本田小学校の先生方の幼児教育への理解が素晴らしいと思いました。幼稚園教育のことを大事に思ってくださる先生方がいらっしゃるがすがすがしいです。」</p> <p>「初めての交流とは思えないほど、子どもたち同士がかかわりをもって活動していた。日頃の体育や授業の中で、かかわりを大切にしている姿勢が感じられた。色々な課題に対して、グループの子ども達と意思を出し合っている様子がよかった。3年生がリードしている場面がよく見られた。幼小のそれぞれの立場での考えや思いがよくわかった。伝え合う場が大事であると思った。中味の濃い学びとなりました。ありがとうございました。」</p> <p>「初めての出会いの中で、お互いに打ち解けていく様子がステキでした。特に3年生が優しいまなざしで話しかけている姿を見て、普段は学級の中でいごこちがよくないと感じている子どもにとってはよい機会になったのではと感じました。西船場小学校や日吉小学校は半数以上隣接の幼稚園から進級してきていると聞いて、本田小学校は数多くの幼稚園・保育所から来ているんだなあと思って思いました。」</p> <p>「4人ずつの少人数グループでみんなが発言できていた。全体への呼びかけなど幼児に伝わっていない時でも、小学生の姿を見てやろうとしていた。大変集中しているのがわかる。楽器を戻すときなどのちょっとした時も、幼児と小学生が関わっていた。今日、初めて出会ったとは思えない表情だった。質の求めたことがよくわかった。子ども同士は本日が初めてでも、この日までに教職員の打ち合わせ、考えのすりよせなどがあったことが、本日の提案の成功だったと思われる。互いの教育観を認め合っていることが子ども同士も認め合うことにつながっている。」</p> <p>「幼稚園児にとっても小学生にとっても、学びの多い時間だったと思います。本校では全く幼小交流はありません。今日感じた良さを広めたいと思います。幼稚園の先生との交流、とてもよかったです。幼児期に大切なことは児童期にももちろん大切で、子ども一人一人を見て、表情や思いをくみ取ることはいくらも引き続きしていかなければいけないと思います。改めて気づいたことがありました。</p> <p>「初めて出会って、授業、交流するという状況に驚きました。このような積み重ねが将来に生きてくるのだと思い、新しい視点をいただきました。幼稚園の先生方となかなか直接お話しすることがないので、お話しできたことが大きな成果です。大切なことをたくさん学ばせていただきました。</p> <p>「子どもたちが学び成長し合う姿が見られました。教師が思っているより子どもたちは自ら進んでいく力があるので、それを大切にしてあげなくてはと改めて思いました。他の学校、幼稚園での取り組みが聞けて良かったです。幼保小の連携では子どもたちの交流は勿論ですが、指導者側も交流し、子どもたちの力を共有する必要がありますね。本日はありがとうございました。」</p> <p>「まずはやってみることが大事だなあと改めて思いました。子どもたちの様子を見ながら授業を進めていかれることが本当に大切だと思いました。幼小連携はどのような学校でも生活科との関連で少しはしていると思うのですが、「学校として」「研究の一つとして」取り組んでおられることが大変興味深かったです。ぜひ、継続的に研究を行い、子どもたち同士が自然に学び合いダイナミズムに活動するような授業を見せていただきたいです。」</p> <p>「5年6年でなく3年生で実践したことが面白いなあと思いました。3年生の子どもたちの気づかいや自分のやりたい気持ちが見えて、交流が面白くなっていったように感じます。お互いの声かけによってやる気もアップしていたのでよかったです。見えない力についてどうつなげていくか、続けていくか、これから課題になっていくなあと感じました。」</p>	
<p>6 研究発表を実施した日・場所・参加者数</p>	
<p>日程 平成 28 年 11 月 22 日(火) 九条幼稚園・本田小学校公開保育・授業</p> <p>場所：大阪市立本田小学校</p> <p>参加者 約 100 名</p> <p>日程 平成 29 年 1 月 19 日(木) 西区幼稚園・小学校合同発表会</p> <p>場所：オリックス劇場</p> <p>参加者 約 1500 名 (教職員 約 200 名 地域各団体長 約 50 名 保護者約 1250 名)</p>	